



プロジェクト名称

団地サテライトラボ

プロジェクト活動概要

本プロジェクトでは、学生たちが主体的に活動を行う場所の提供や活動自体の支援を行うことを目的としており、学内や学外の団体と協力してイベントの企画や運営を行っている。

また、原市団地に設置したサテライトラボを拠点とすることによって、団地のコミュニティの活性化、地域の高齢者の健康増進などを図った活動を行った。

昨年度は団地サテライトラボが主体となり活動の提案、運営をし、そこに学生を巻き込むという形が多かった。巻き込む学生団体の固定化が目立ったため、新しい学生を団地に巻き込むことにも力を入れた。

活動状況報告 & 活動写真など 活動期間：2016 年 1 月 1 日 ～ 3 月 31 日

昨年度までの、“学生の学外活動の支援”や“団地住民とのつながりづくり”を主とした関係や活動の基盤づくりから、今年度は“活動内容の広域化強化”という段階を更新した。具体的には、ハロウィンパーティーやクリスマス会などの新しいイベントを実現することができた。より多くの学内団体に活動の場を提供するため、学内団体の調査や声かけも行った。定期的なイベントのマンネリ化を防げたと考えている。

また、今年度は石窯を作り、石窯で作ったピザの振る舞いを通じて学生と団地の住民との交流を深めることができた。

学生の学外活動支援

○原市いきいき相談室（2月7日）

NPO 法人ヒューマンシップコミュニティ主催で月に一回行われる健康相談や体組成計に参加し、高齢者の健康意欲への増進を図った。

団地サテライトラボとしては団地住民と協力してつくった石釜を使用し、おからクッキー、焼き芋、ピザの試食会を開催した。

また、NHK の撮影を通し実際に団地の住民にピザ作りを体験してもらった。団地住民が自らピザ作りを体験することで、住民が主体となる能動的な活動に一步近づくことができたのではないかと考えている。

○周年際（3月4日）

コープみらいと共催し、周年際を行った。

団地サテライトラボとしてはピザの試食の配布をしながら、参加してくれた地域の住民とのコミュニケーションを図った。石釜の温度を上げることや全員への試食配布に時間がかかり、待たせてしまったこともあったが多くの団地住民に喜んでもらった。

最後にはコープみらいや団地住民と挨拶を交わし交流を深めることができた。



今後の活動計画、目標、意気込みなど

今後の活動では、今までの“大学チェンジ”の活動から“社会貢献”の活動に主軸を移して活動していく方針である。学生を主体とした活動ではなく、団地住民を主体とした活動を行っていきたいと考えている。

予定している活動は以下の通りである。

○団地と学生が協力してイベントを開催

今までは学生や団地サテライトラボが主体となって活動の企画、実行をしてきた。今後は、学生がいなくても団地住民が自主的にイベントを企画、実行していけるようになってほしいと考えている。

その過程として、今年度は団地と学生が協力しながらこれまでのイベントの継続を行っていく。新しいイベントの提案も、団地住民と協力して行っていく方針である。

○芝浦工業大学への協力要請、団地の空き屋改善

原市団地の空き屋率は4~5%と、上尾市の団地の中では空き屋が最も多い。数にして、およそ60個が空き屋となっている。そしてその多くが4,5階である。4,5階で高齢者が暮らすことは難しいため、そこに学生を入れることで団地の活性化につながるのではないかと考えている。

団地の空き屋を埋めるため大学に協力を要請したいと考えている。

○規模の拡大

原市団地だけにとどまらず、他の団地にも活動を広げていく。

一例として、白樺団地での石釜作りを検討している。

○幅広い年齢層間でのコミュニケーション

子どもから高齢者までが楽しめるようなイベントを企画、実行することで団地内の縦のつながりを作る。